AWS　Well-Architectedまとめ

W-Aはさまざまな経験を分かりやすくまとめたもの

６つの柱に例えられてまとめられている

・運用上の優秀性

システムのモニタリングや変更管理、継続的な運用プロセス・手順の改善、通常・障害時の運用業務などのトピックがあげられている

・セキュリティ

データの機密性と整合性の担保、権限管理、セキュリティイベントの監視や制御のトピックが取り上げられている

・信頼性

障害時における動的なコンピューティングリソースの獲得など可用性の高いアーキテクチャに関するトピックがあげられている

・パフォーマンス効率

性能要件や需要の変化に応じた適切ばリソースタイプの選定やパフォーマンスのモニタリングなどのトピックが取り上げられている

・コスト最適化

不要なコストの回避や最適化について記載されている

適切なコスト把握、最適なリソースタイプの選定

需要に応じたシステムのスケーリングなどのトピックがあげられている

・持続可能性

エネルギー消費量を削減し地球環境への影響を最小限にするための必要な設計・実装についての記載

サーバーリソースの稼働・消費時間の最適化、定期的なデータ削除による無駄なリソース最適化などのトピックがあげられている